

## SX20 クイック セットのコンポーネント



- SX20 コーデック
- カメラのオプション  
A : PrecisionHD 1080p 12X  
B : PrecisionHD 1080p 4XS2
- Table Mic 20 マイク (デフォルト用とオプション用)
- リモート コントロールと単 4 電池 (4 本)
- モニタ用 HDMI ケーブル (デフォルト用とオプション用)
- LAN 用イーサネット ケーブル
- PC 接続用の VGA と DVI-A 間のケーブル
- カメラのケーブル
- 電源および電源ケーブル
- カメラ取り付けブラケット

ビデオ会議システムを構築するには、SX20 クイック セットのほかに、モニタまたはプロジェクタ、およびスピーカー（外付けまたはモニタ内蔵）を用意する必要があります。

## ユーザ ガイド

この製品のユーザ ガイドならびにコンプライアンスおよび安全情報は、<http://www.cisco.com/go/telepresence/docs> で入手可能です。右側のページで *TelePresence Solutions Platform* をまず選択して、ご使用の製品に移動します。

EMC クラス A 適合宣言

**警告:** この装置は、クラス A 情報技術装置です。国内環境で本製品を使用すると、電波障害を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザが十分な対策を講じるように求められることがあります。

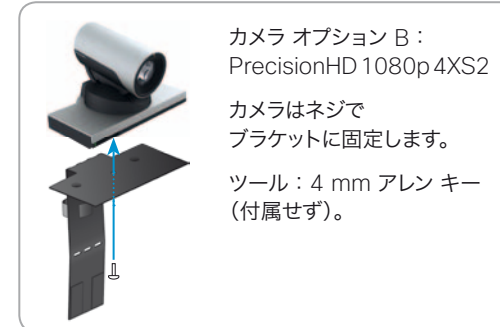
## 推奨する部屋の設備

以下はあくまでもガイドラインとお考えください。取り付け位置を固定する前に、現場で実際に試してください。

オフィスや会議室をビデオ会議用に最適化する方法については、Web サイトから入手可能な『*Video conferencing room primer*』および『*ビデオ会議室の音響ガイドライン*』をご覧ください。



カメラ オプション A : PrecisionHD 1080p 12X  
迷光でビデオ操作が妨げられないよう、レンズ フードを取り付けます。  
カメラは、ブラケット上の磁石に取り付けます。



カメラ オプション B : PrecisionHD 1080p 4XS2  
カメラはネジでブラケットに固定します。  
ツール : 4 mm アレン キー (付属せず)。

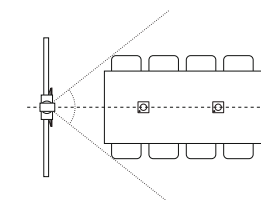


お互いに視線が合うよう、カメラをモニタのすぐ上に配置する。

カメラ取り付けブラケットを使用する場合は、マジックテープで固定する。

テーブルの横面に垂直となるよう、モニタの下端を調整する。

55 インチより大きいモニタは、やや低い位置に配置する必要がある。



モニタとカメラを配置する場合は、カメラのセルフ ビュー機能を使用してすべての出席者がカメラに捉えられるようにする。

顔が影で暗くならないように照明を明るくする。反射を防ぐためモニタに直射日光が当たらないようにする。

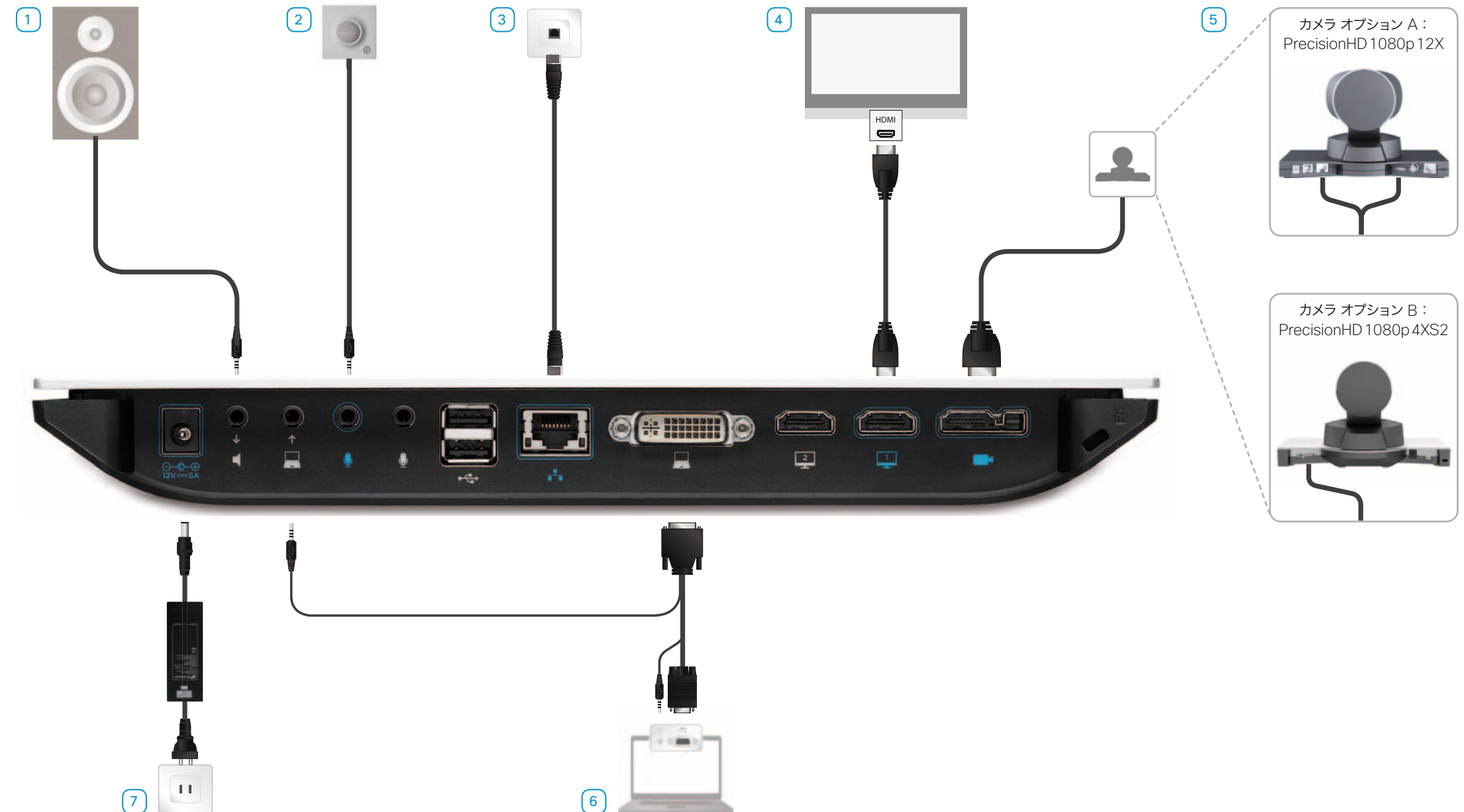
できるだけすべての会議出席者から近くなる位置にマイクを配置する。

## ケーブルの接続

図に示すようにすべてのケーブルを接続します。

**注意：** デバイスを接続または切断する場合は、すべてのユニットの電源がオフになっていることを確認してください。

- ① 外付けスピーカーを接続する場合は、アクティブなスピーカー（増幅器内蔵型）を使用するよう注意してください。
- ② 1 つまたは 2 つの Cisco Table Mic 20 マイクをコーデックに接続します。  
**注意：** 他のデバイスはマイク入力に接続しないでください。
- ③ コーデックを LAN/ イーサネットに接続します。
- ④ プライマリ ディスプレイを青色の HDMI ポートに接続します。  
デュアル ディスプレイ オプションを選択している場合は、セカンダリ ディスプレイをもう一方の HDMI 出力に接続します。
- ⑤ カメラ（オプション A または B）をコーデックに接続します。
- ⑥ （ローカルで、またはリモートの出席者と）プレゼンテーションを共有できるよう、PC（ビデオおよび音声）を接続します。
- ⑦ 必ず付属の Lite-On PA-1600-2A-LF 電源（入力：2 A、100 ~ 240 V、50 ~ 60 Hz。出力：5.0 A、12.0 V）を使用してください。



## システムの使用開始

電話をかける前に、シスコの web サイトから入手できる『スタートアップガイド』の説明に従って、システムを設定してください。インターネット上のユーザ ガイドの場所については、裏面をご覧ください。

コーデックが自動的に起動しない場合は、タッチ ボタンを押してコーデックに電源を投入してください。ボタンが点灯（それまでに数分かかる場合があります）したら、システムの設定を開始できます。